

# 決算説明資料

2014年3月期第2四半期

atect

JASDAQ

Listed Company 4241

2013年11月  
株式会社アテクト

# 業績の要約(第2四半期累計)

(百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	前年度比(%)
売上高	1,268	1,293	102.0%
売上総利益	566	601	106.3%
営業損益	112	140	125.1%
経常損益	81	143	177.3%
純損益	97	120	122.8%

2011年3Qから着手した構造変革活動により好調な利益水準を維持。  
営業利益は25%増加(営業利益率10.8%)

# セグメント別業績(第2四半期累計)

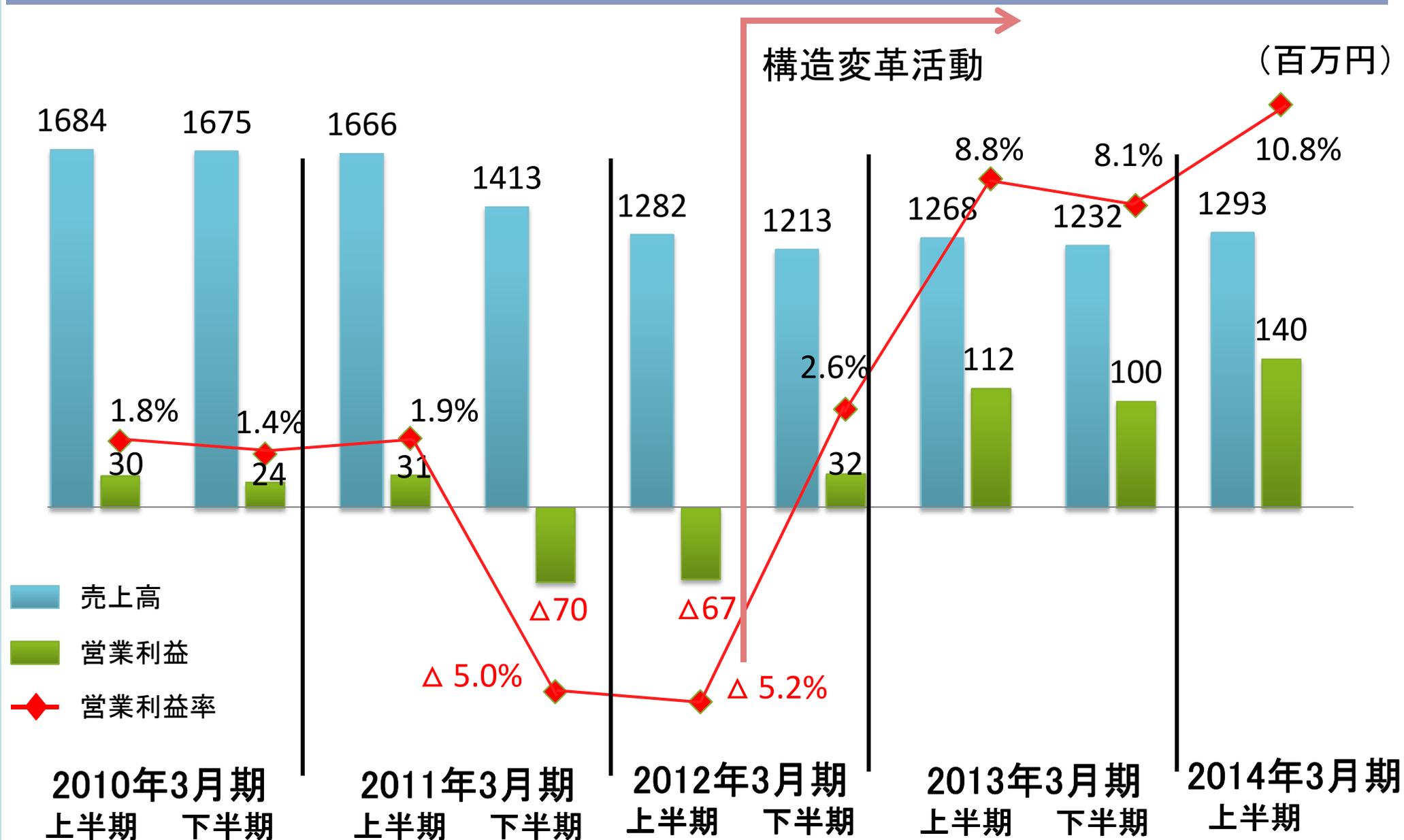
(百万円)

セグメント		2013年3月期	2014年3月期	前年度比(%)
半導体 資材	売上高	433	489	113.0%
	営業利益	28	59	212.1%
衛生検査 器材	売上高	751	777	103.5%
	営業利益	80	69	85.9%
PIM	売上高	15	38	242.0%
	営業利益	-1	11	-

衛生検査器材事業の材料費高騰による損失分を半導体資材事業の利益増でカバーし、連結営業利益は増益。

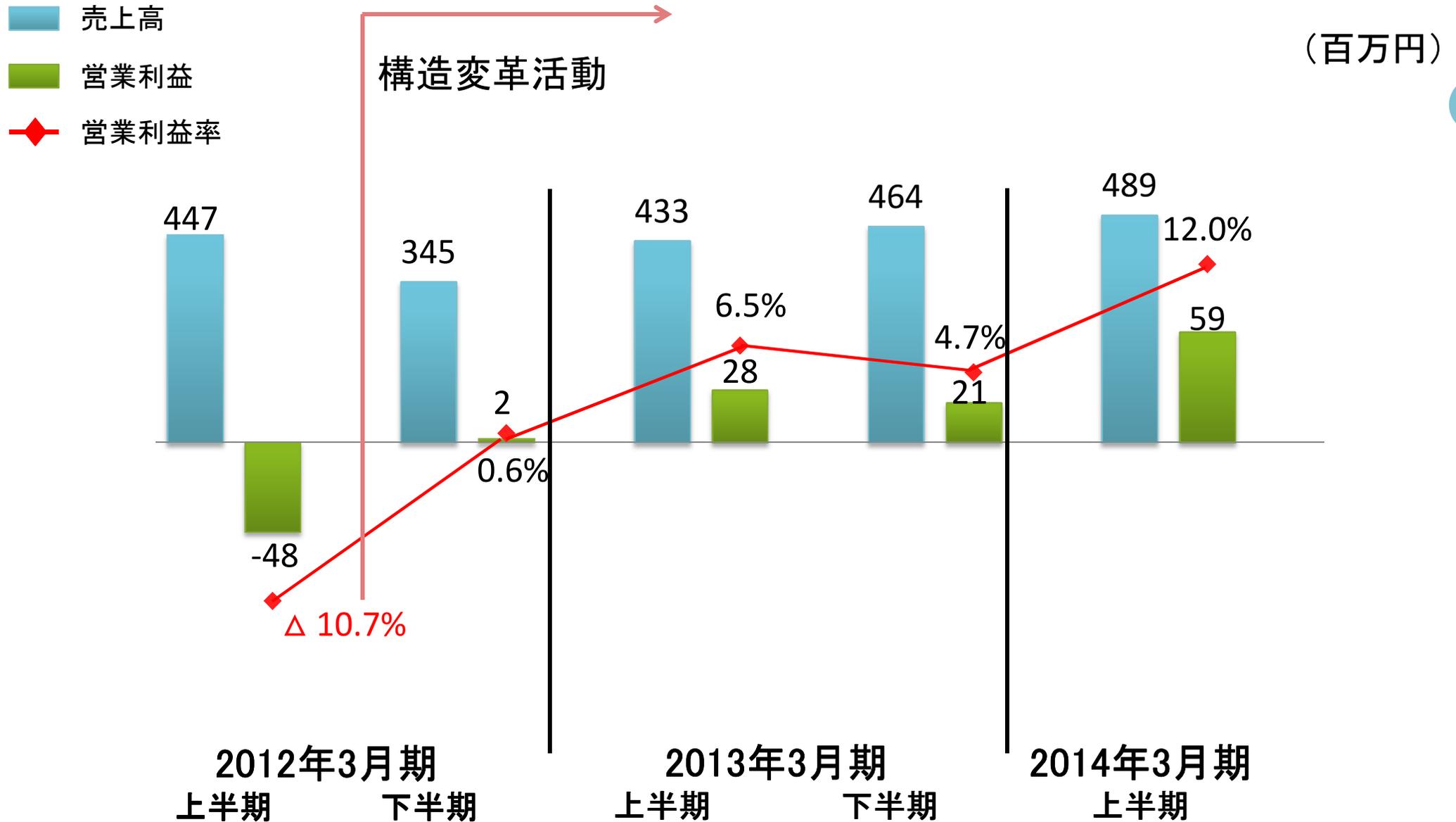
PIM事業は前期第3四半期の初の黒字転換以降堅調に推移。

# P/L(推移 2010年3月期～2014年3月期)



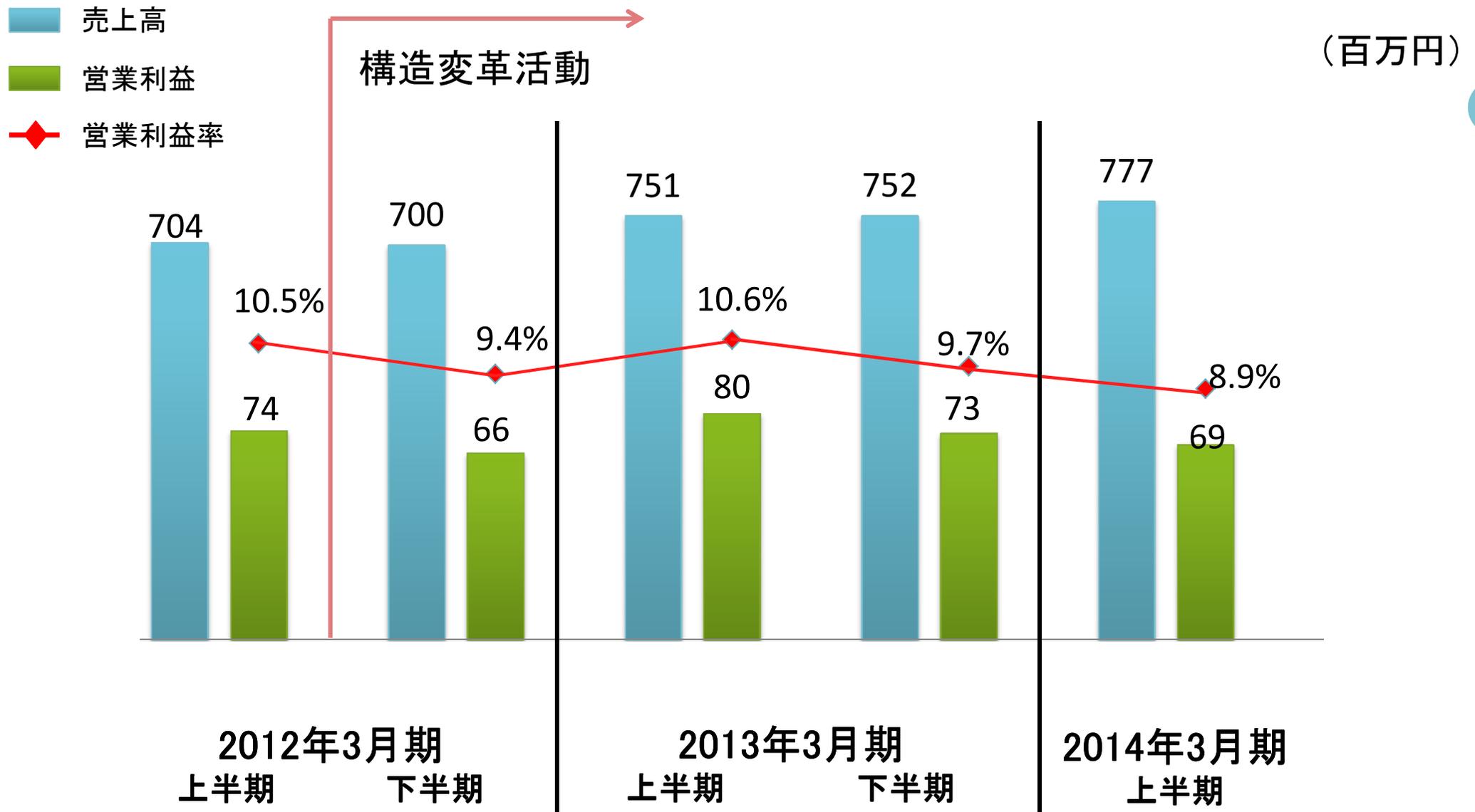
営業利益は構造変革活動が奏功し、V字回復。好調な利益水準を維持。  
2014年3月期上半期営業利益率10.8%達成。

# セグメント別概況＜半導体資材事業＞



韓国・台湾の2大生産拠点への集約と円安効果が奏功し、大幅な増益。

# セグメント別概況＜衛生検査器材事業＞

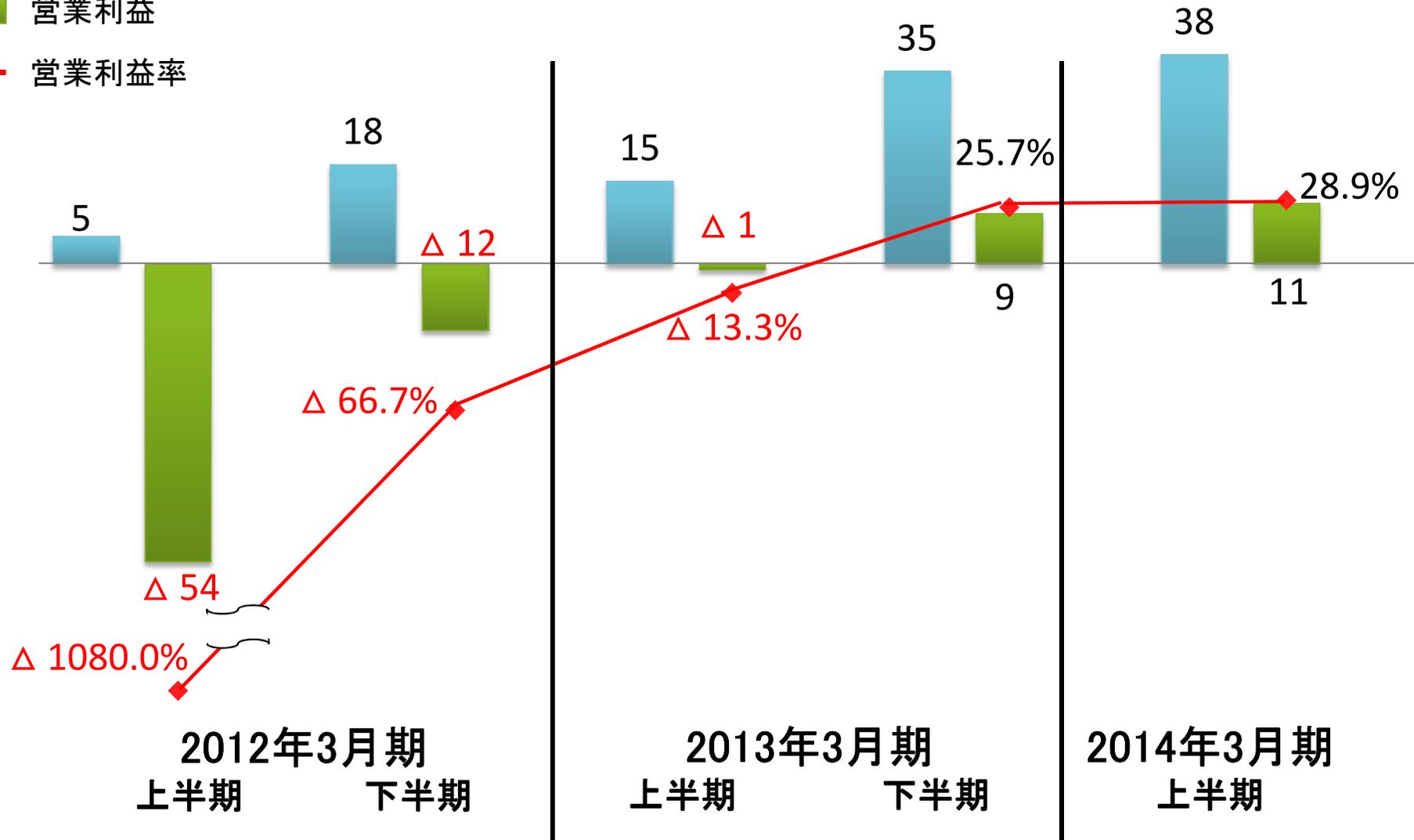


高騰が続く主原料の影響を受けたものの、2013年3月期から進めてきた生産変革活動により利益減少を最小限に抑える。

# セグメント別概況 <PIM事業>

(百万円)

- 売上高
- 営業利益
- 営業利益率



材料販売の拡大と商品開発の選択と集中により2013年3月期下半期より黒字化

# BS

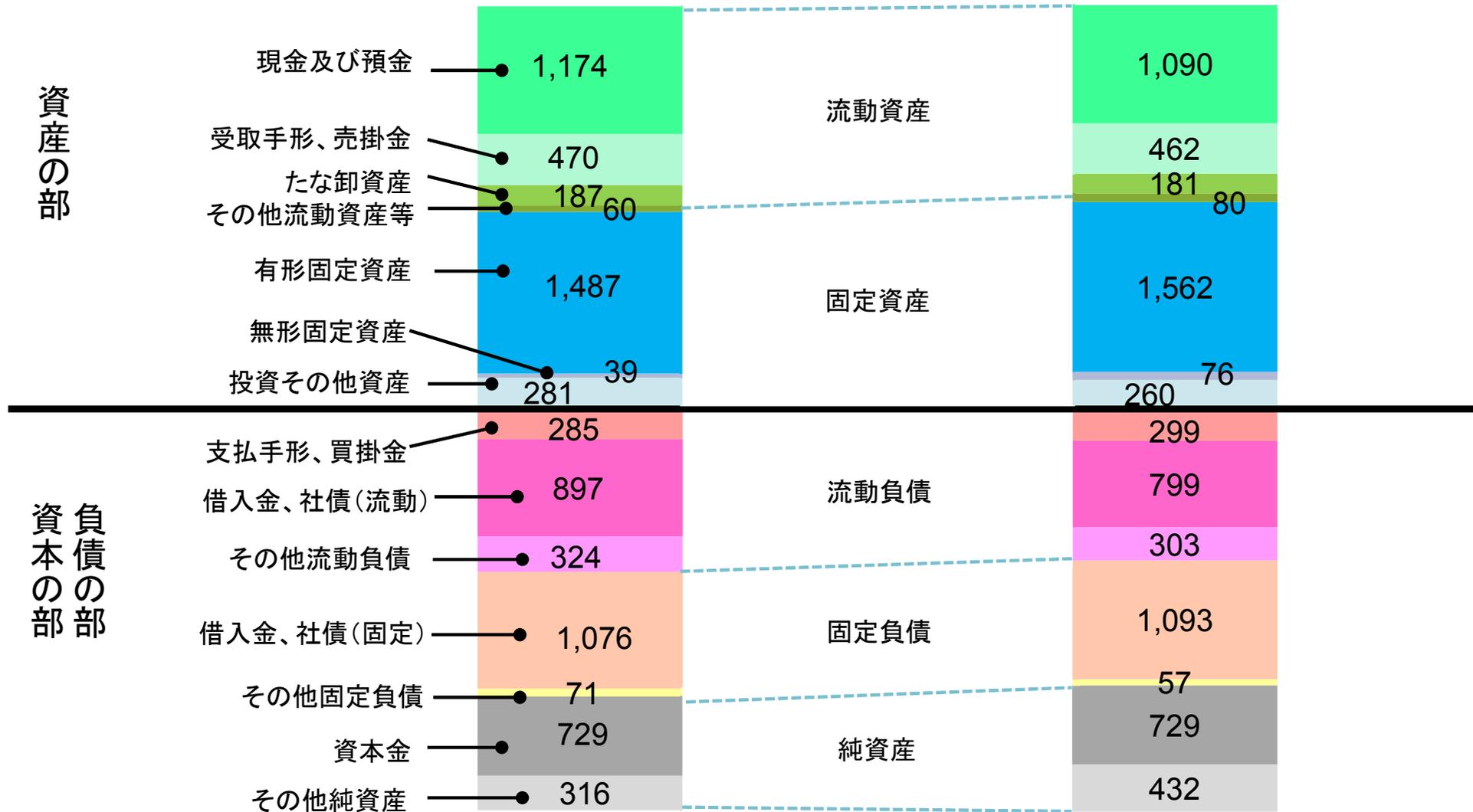
2013年3月末

3,701

2013年9月末

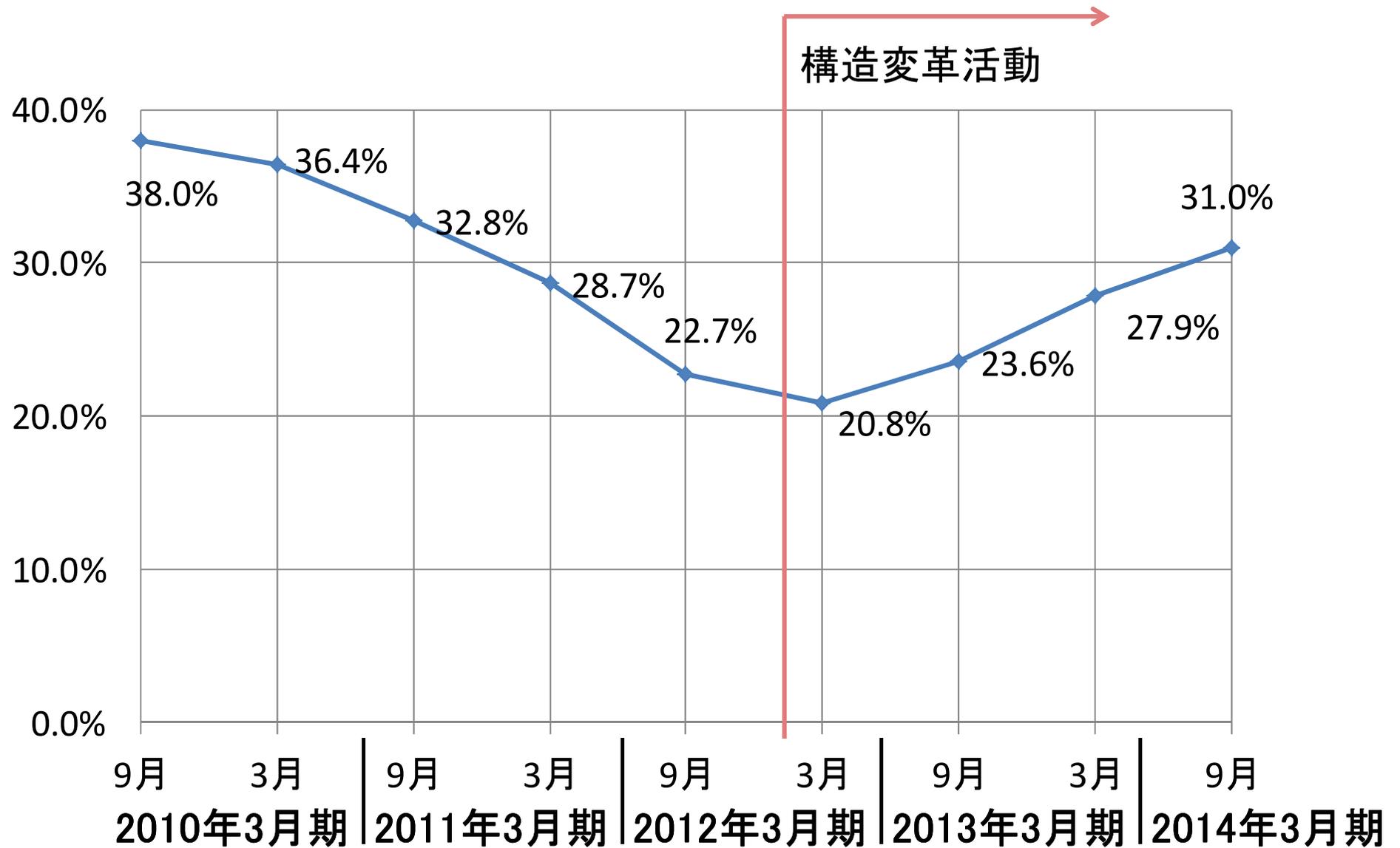
3,714

(百万円)



主に流動負債が減少し、純資産が改善

# 自己資本比率

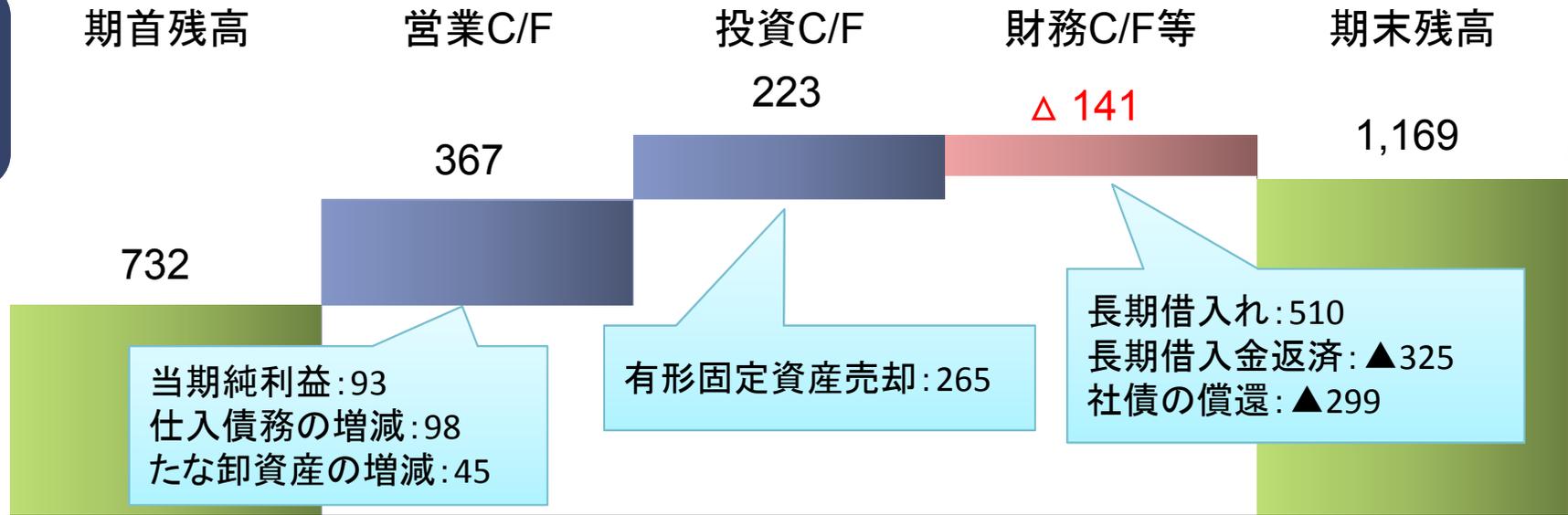


構造変革活動により2012年3月期下半期より改善

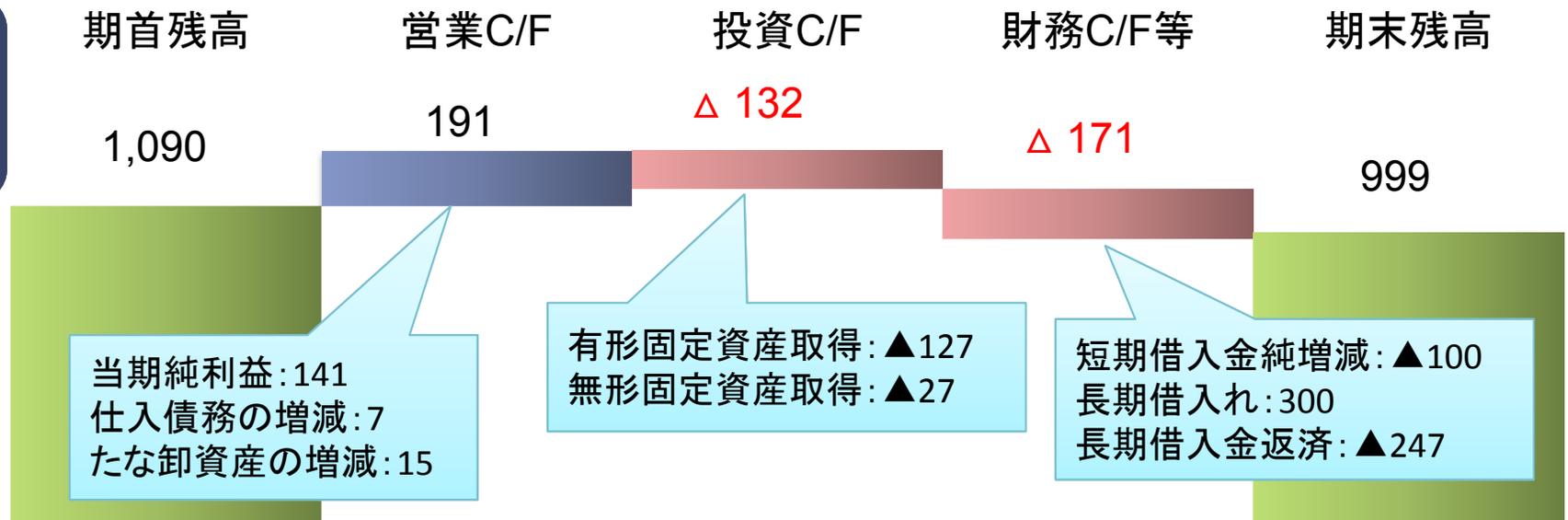
# 要約キャッシュ・フロー

2013年3月期  
第2四半期  
(累計)

単位:(百万円)



2014年3月期  
第2四半期  
(累計)



3大投資によるコスト削減を推進しながら短期借入金の減少を両立

# 2015年3月期の利益拡大に向けた重点施策

## 半導体資材事業

韓国一極集中生産とライン生産能力の向上

## 衛生検査器材事業

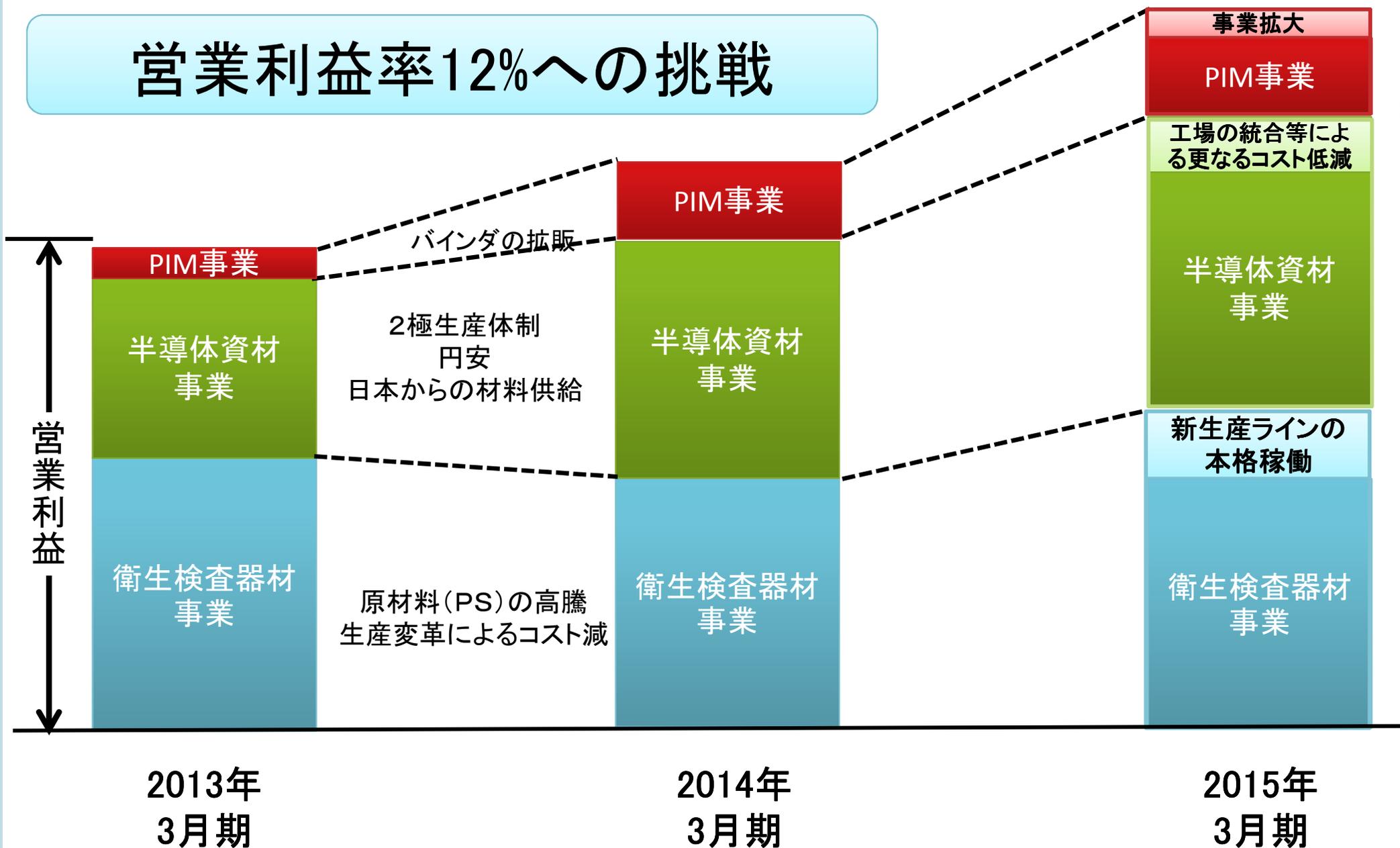
当社独自開発の新生産ライン本格稼働

## PIM事業

材料販売のさらなる拡大とCIM製品の事業化  
(自動車向けヒートシンク商品開発に注力)

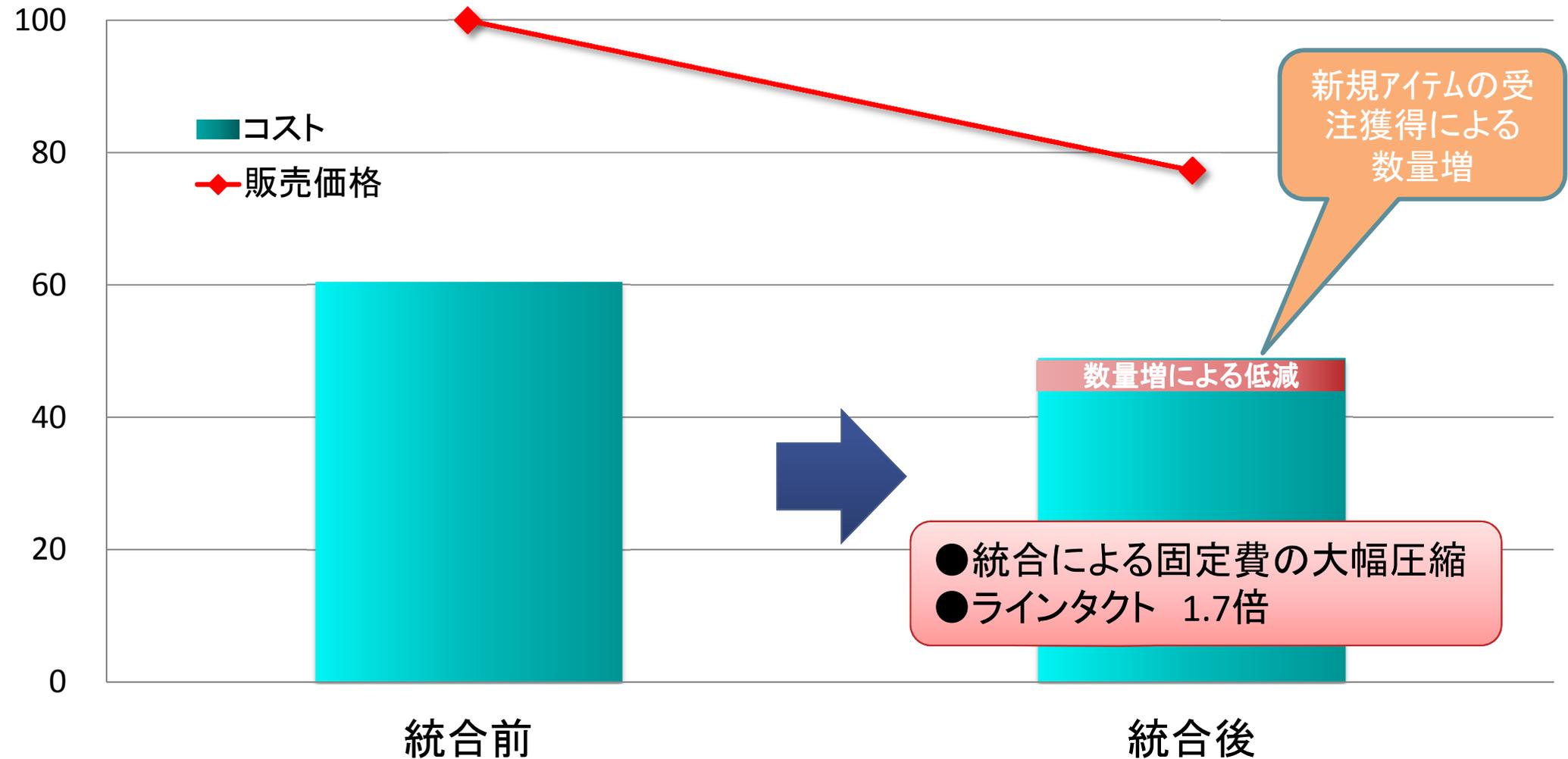
# 今後の施策による利益拡大イメージ

## 営業利益率12%への挑戦



# セグメント別概況 < 半導体資材事業 >

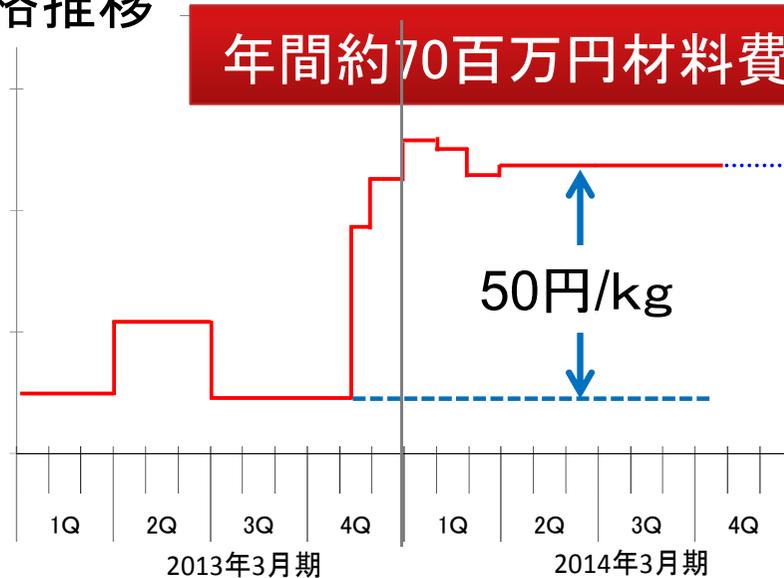
スペーサーテープ 販売単価 VS 製造原価(拠点販管費含む)



販売下落を統合による固定費圧縮と生産量拡大によるコスト低減でカバー

# セグメント別概況＜衛生検査器材事業＞

## PS価格推移



生産変革活動(IE)の推進、生産の自動化・IT化により利益の減少を最小限に抑えた。

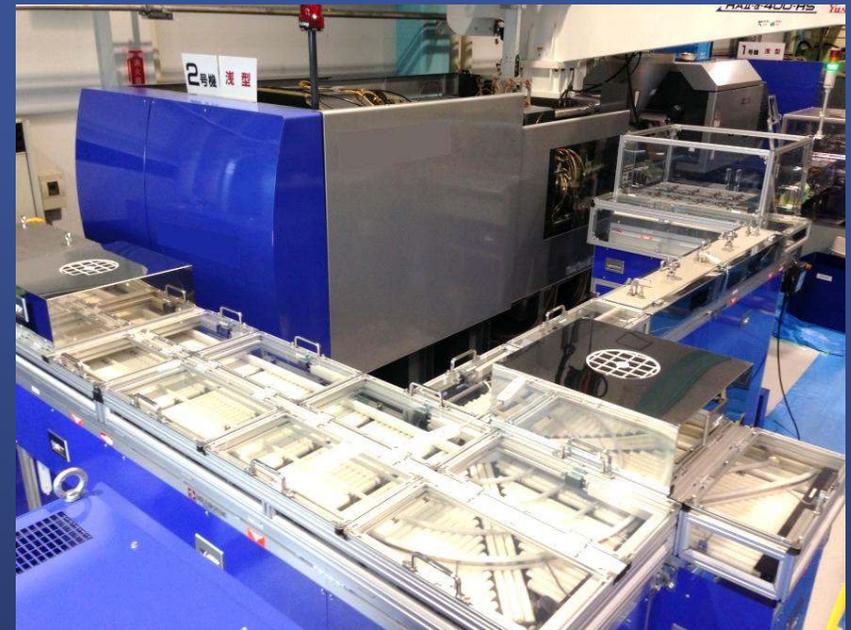
前上半期との利益差:  $\Delta 11$ 百万円

今後も円安・SM(スチレンモノマー)の高騰は続く事を想定し、

新生産ラインを自社開発

- 大幅材料費減
- 省人化

(2014年4Qより稼働開始)



# セグメント別概況 <PIM事業>

## 材 料

- 複雑3次元形状  
(ex.超薄肉MIMパーツ)
- 鏡面部品  
※MIM製法では不可能と思われていた  
ナノオーダーの表面粗さを実現



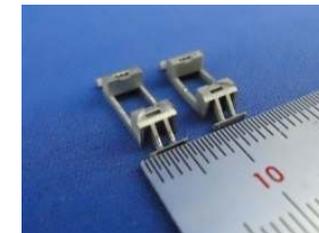
バインダ



フィードストック

## 製 品

- 複雑3次元形状のMIMパーツ



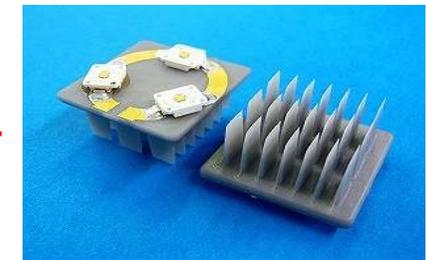
- 鏡面部品



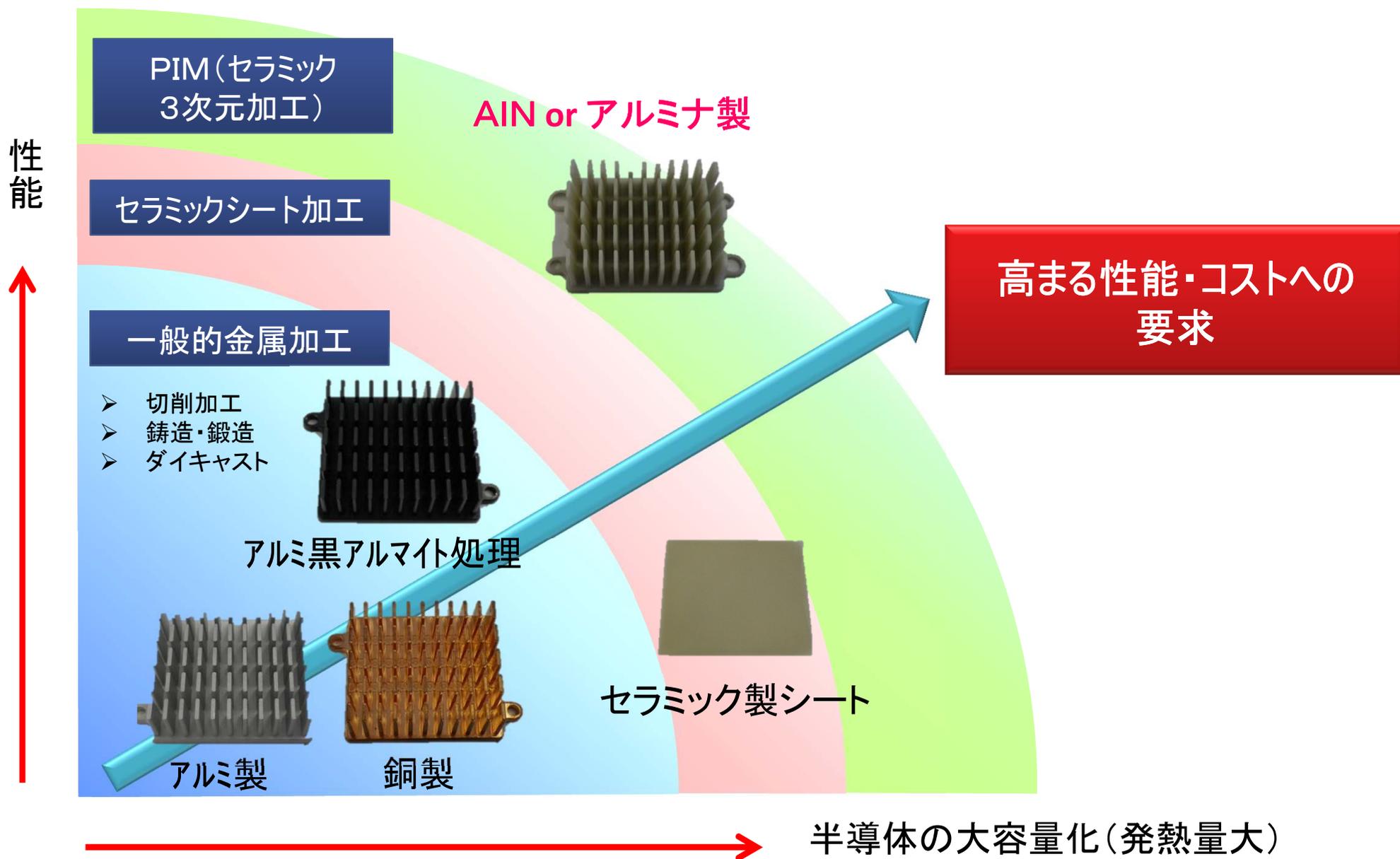
- AINヒートシンク

1年以内にTS16949\*の認証取得を目指す

\*自動車産業向け品質マネジメントシステム



# アテクトが描く、独自のPIM技術によるビジネス領域



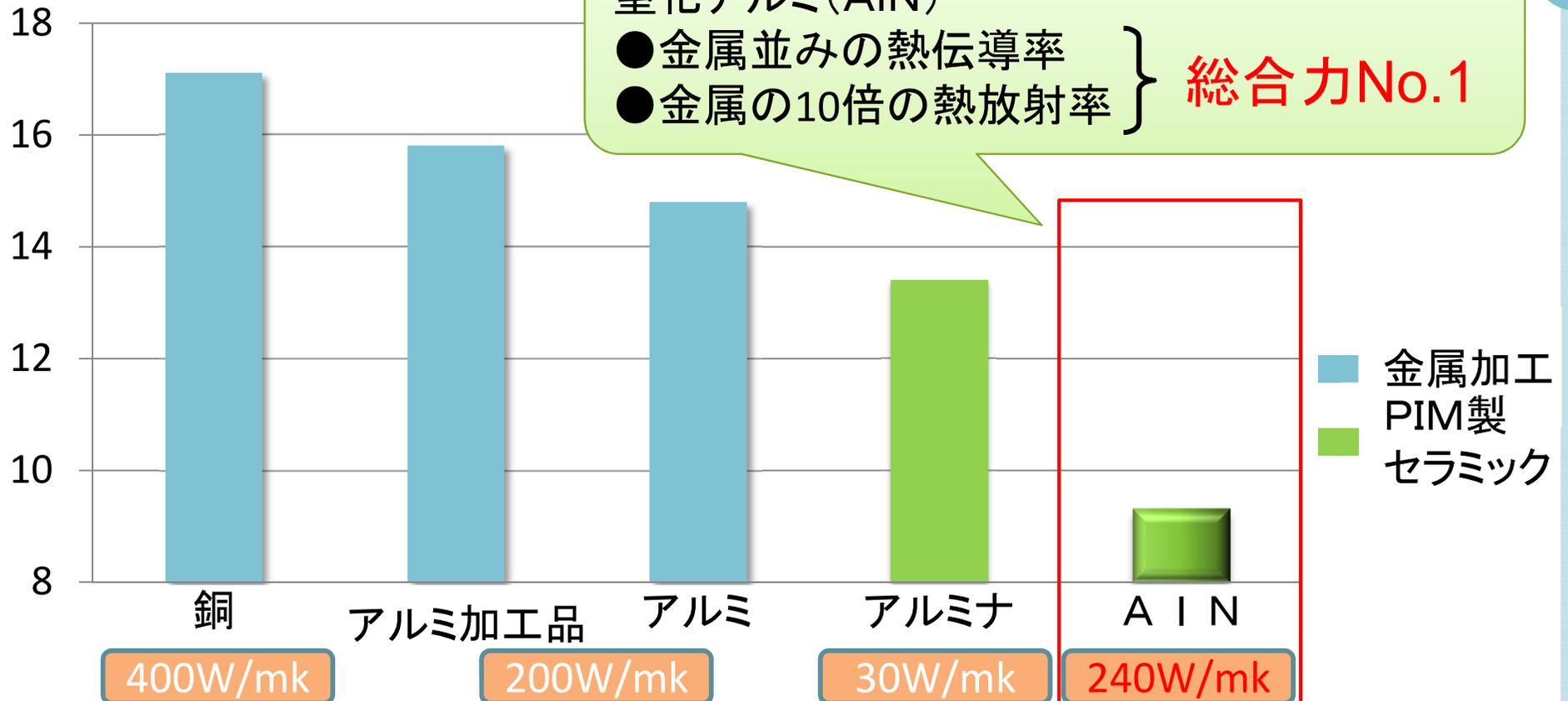
# AINによる最高レベルのヒートシンク開発に成功

## 熱抵抗(°C/W)\*比較

\*(ジャンクション温度-周囲温度)[°C]÷ヒーター電力[W]

高い  
放熱性

熱抵抗(°C/W)



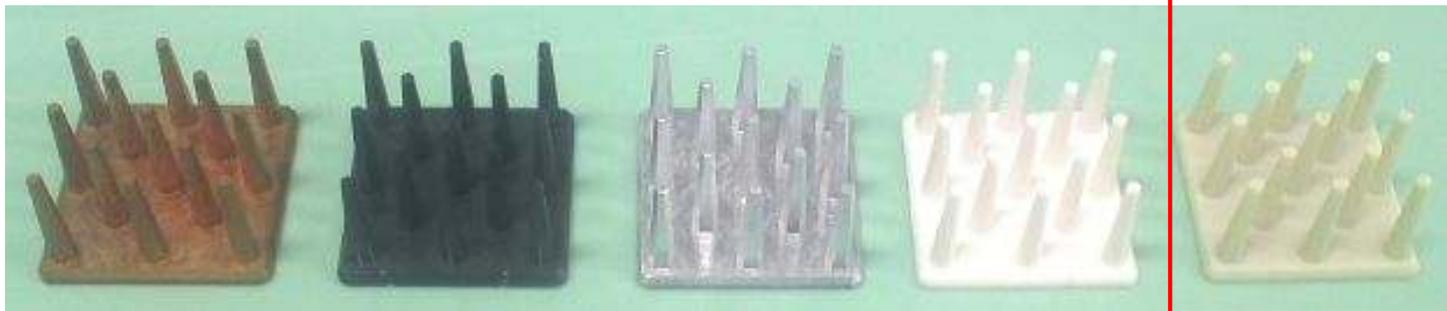
窒化アルミ(AIN)

● 金属並みの熱伝導率

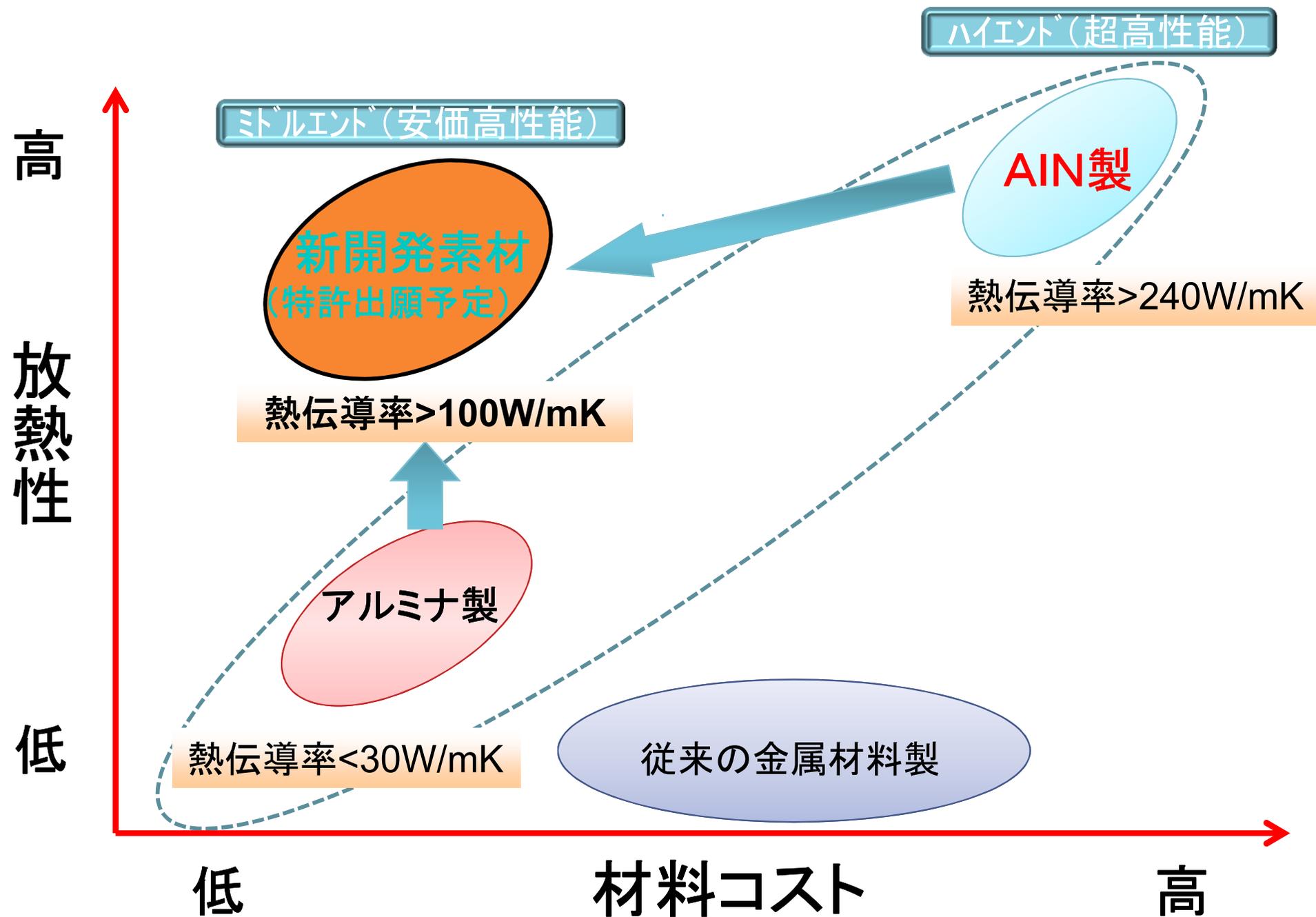
● 金属の10倍の熱放射率

総合力No.1

■ 金属加工  
■ PIM製  
■ セラミック



# 高放熱性・ローコストを実現する新素材ヒートシンクの開発



当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

## 本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 管理本部 IR担当

TEL: 072-967-7000

E-mail: [ir@atect.co.jp](mailto:ir@atect.co.jp)